

# 音楽科学習指導案

指導者 尾道市立向島中央小学校

- 1 学年 第2学年 28名
- 2 題材名 「中央っ子 海のたんけんたい」の音楽をつくろう  
～いい音を見つけて 一年生に紹介しよう！～
- 3 教材名 「ゆかいな時計」 ルロイ・アンダソン 作曲  
「森のたんけんたい」 野木 雄大 作曲 東 一陽 作詞

## 4 題材の目標

- 身近な楽器に関心を持ち、表現したり鑑賞したりする学習に進んで取り組む。
- 身の回りの音の様々な特徴を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音の出し方を工夫している。
- 身の回りの音の様々な特徴に気付き、それらを生かして音遊びをする。
- 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取って聴く。

## 5 学習指導要領との関わり

[第1学年及び第2学年]

- 身近な楽器に親しみ、音色に気を付けて簡単なリズムや旋律を演奏すること。【A 表現 (2) ウ】
  - 声や身の回りの音の面白さに気付いて音遊びをすること。【A 表現 (3) ア】
  - 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取って聴くこと。【B 鑑賞 (1) イ】
- [共通事項] (1) ア (ア)音色、リズム、強弱 イ 音符、休符

## 本題材で育成する資質・能力 ～ 思考力・表現力・主体性・積極性

### (1) 題材観

本題材は、身近な楽器に親しみ、楽器の音の様々な特徴を聴き取り、それらの働きが生み出す面白さを感じ取りながら、音遊びをすることを主なねらいとする。このねらいにせまるため、本題材では二つの楽曲を取り上げる。表現教材曲「森のたんけんたい」は、A(ab)B(cd)の二部形式の曲で、歌詞の中に「コンコン」「ポンポン」「キラキラ」などの楽器をイメージしやすい擬音語がたくさん出てくるため、歌詞に合う楽器を選んで演奏したり、楽器の音色を生かしながら音楽をつくったりすることができる曲である。鑑賞教材「ゆかいな時計」は、A-B-Aの三部形式の曲で、ウッドブロックで演奏される規則的なリズムや、トライアングルで演奏される目覚ましベルの音などが特徴的であり、情景を自由に想像して聴いたり、楽器の音の出し方に着目して聴いたりすることができる曲である。

音楽づくりは、「森のたんけんたい」の楽曲を基に、鑑賞で聴き取った楽器の音の出し方などを生かして、表現を工夫させる。

### (2) 児童観

児童は、2学期の題材「ぴったりの歌い方を見つけよう」では、「虫のこえ」の中で、秋の夜長に聞こえてくる虫の音を想像しながら楽曲を聴いたり、虫の声を表すのにふさわしい歌い方や楽器での演奏のしかたを考えたりしながら、「問いと答え」の仕組みを生かした音楽づくりに取り組んできた。また1学期末に本学級児童に行った音楽アンケートの結果は以下の通りである。

- 「音楽の授業が楽しい」 96.4%
- 「楽器を演奏するのが好きだ。」 92.8%
- 「リズムや旋律を自由につくることが好きだ」 92.8%
- 「音楽を聴くのが好きだ。」 100.0%
- 「友達と演奏したり歌ったりすることが楽しい。」 92.8%

本学級には、音楽活動に対する関心・意欲が高く、音楽づくりや楽器演奏にも意欲的に取り組んでいる児童が多いと言える。しかし、楽器演奏では、音色やリズム、強弱に気を付けて演奏したり、自分の思いを表現したりすることを苦手と感じている児童もいる。また音楽を聴いて感じたことを自分の言葉で表現することも苦手である。よってこれらの力を、題材を通して深めていく必要がある。

### (3) 指導観

指導に当たっては、児童自らが課題を設定し、課題解決ができるよう題材を構成する。

第一次では、「森のたんけんたい」について、挿絵や楽曲のイメージを膨らませながら楽しく歌ったり、手拍子や楽器でリズム打ちをしたりすることで、学習への意欲を高める。またその際、挿絵や歌詞を根拠に、楽曲から想像したことや感じたことを自分の言葉で表現させるとともに、正しくリズム打ちができるよう指導する。

第二次では、一年生担任からの手紙を読み、すてきな音を見つけて一年生に向けて発表会をしようという学習の見通しをもたせるとともに、オリジナル音楽「中央っ子 海のたんけんたい」の音楽をつくるという学習課題を設定する。音楽づくりの前時として「ゆかいな時計」を鑑賞させることで、音色やリズム、強弱に着目させたり、楽器の音の出し方に着目させたりして、音楽づくりに生かせるようにする。また、鑑賞の際は、同じ音色が出てきた部分を手拍子や膝打ちさせるなど、体を動かす活動を取り入れることで、音色や強弱、リズムなどの特徴を把握させる。

第三次では、「海のたんけんたい」の音楽づくりに取り組ませる。自分達で向島の海をイメージした歌詞を作るとともに、歌詞のイメージに合う楽器や音をグループで考えさせ、互いに演奏を聴き合ったり、友達の演奏を聴いて感じたことを自分の言葉で伝え合ったりする活動を通して、友達と一緒に音楽をつくる喜びを味わうことができるようにする。

## 6 評価規準

ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能	エ 鑑賞の能力
①身近な楽器に親しみ、音色に気を付けて簡単なリズムや旋律を演奏する学習に進んで取り組もうとしている。 ②身の回りの音の面白さに興味・関心をもち、音遊びに進んで取り組もうとしている。 ③音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。	①身の回りの音の様々な特徴を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音の出し方を工夫している。	①身近な楽器に親しみ、音色に気を付けて簡単なリズムを演奏している。 ②身の回りの音の様々な特徴に気付き、それらを生かして音遊びをしている。	①音色、リズム、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取って聴いている。

## 7 育成しようとする資質・能力とのかかわり

### 【思考力】

- ・音楽を特徴付けている音色やリズム、強弱やそれらの働きやかかわり合いが生み出す面白さをとらえる力
- ・挿絵や歌詞から楽曲のイメージを膨らませ、楽曲に合う音を探したり演奏を工夫したりする力

### 【表現力】

- ・音楽を特徴付けている音色やリズム、強弱の変化に気付き、楽曲から感じたことを言葉で伝える力

### 【主体性・積極性】

- ・自分と友達の表現の工夫について比較しながら聴き、表現のよさを見付けようとする力
- ・単元のゴールを設定し、目標に向けて友達と協働して音楽づくりに取り組もうとする力

## 8 題材の計画（全7時間）

次	時	教材	学習活動	評価規準（評価方法）
第一次 （二時間）	第一・二時	「森のたんけんたい」	<b>情報の収集</b> ○挿絵や「森のたんけんたい」の範唱から、どんな「たんけんたい」がいるのか見つけ、楽曲のイメージを膨らませる。 ・きつつき ・たぬき ・ようせい ○範唱に合わせて歌う。 ○手拍子や身近な楽器でリズム打ちをする。また手拍子に合わせて楽しく歌う。	アー①（演奏の聴取） ウー①（演奏の聴取）
第二次 （二時間）	第三時	「ゆかいな時計」	<b>課題の設定</b> <b>情報の収集</b> ○一年生担任からの手紙を読み、音楽づくりへの意欲を持つ。 ・一年生のみんなが、ぼくたちの演奏を聴いてみたいそうだよ。 ・いろいろな楽器から、すてきな音を見つけよう。 ・歌や演奏が上手になったら、一年生に聴いてもらおう。 ・向島には海があるから、「海のたんけんたい」の音楽をつくりたいな。 〓すてきな音を見つけて 一年生にむけて 発表会をしよう！ <b>【学習課題】</b> むかいしまの海の音を見つけて、「中央っ子 海のたんけんたい」の音楽をつくろう。 ○曲の題名を伝えず、「ゆかいな時計」を聴き、曲名を話し合う。 ○中間部の様子を思い浮かべながら聴き、面白い部分や気に入ったところを、根拠をもとに友達に伝える。 ○音の出し方に着目させながら鑑賞させるとともに、ウッドブロックとトライアングルを鑑賞曲に合わせて演奏する。	アー③（行動観察・ワークシート） エー①（行動観察・ワークシート）

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうやって音を出しているのかな。同じ楽器でもいろいろな音の出し方があるね</li> <li>・おもしろい音が出ていたね。「海のたんけんたい」で使えないかな。</li> <li>・まずは「森のたんけんたい」が演奏できるようになりたいな。</li> </ul>	
第三次 (四時回)	第四時	<p><b>「森のたんけんたい」</b></p> <p><b>整理・分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○目を閉じて楽器の音色を聴き、楽器の音色や演奏のしかたに関心を持つ。</li> <li>○歌詞や楽曲の気分に合う音色を探すために、グループでばちの打ち方や強さを工夫しながら演奏する。</li> <li>・「コンコンコン」は、きつつきが木をつつく音なので、ウッドブロックで小さな音で演奏したいな。</li> <li>・「ボンボンボン」は、太鼓で元気よく演奏したいな。</li> <li>・「キラキラ」は、鈴やトライアングルでやさしく演奏しよう。</li> <li>○歌と楽器が重なったり、掛け合いになったりする部分を取り出して演奏し、面白さを感じ取る。</li> </ul>	アー② (行動観察)
	第五時	<p><b>整理・分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○発表会に向けて、どんな音楽をつかって演奏したいか話し合う。</li> <li>・「森のたんけんたい」で演奏した楽器を使いたいな。</li> <li>・向島の海の生き物や音を歌詞に入れたいな。</li> <li>※国語科「心がうごいたことを」の単元と関連させ、国語科の学習の中で、歌詞をグループで考える。</li> <li>・出だしは、「あおい うみの」「きれいな うみの」「たのしい うみの」はどうか。</li> <li>・海が光るから、「キララ キラキラ」がいいな。</li> <li>・小魚がはねるから、「ピンピンピン ピチピチ」にしよう。</li> <li>・わかめが揺れて「ゆらら ゆらゆら」がいいな。</li> <li>○グループで音のイメージを話し合い、楽器を使って歌詞に合う音を探す。</li> </ul>	イー① (演奏の聴取)
	第六時	<p><b>まとめ・創造・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○つくりたい音楽のイメージや、つくった音楽をグループごとに発表し合い、改善点を伝える。</li> <li>・波の音の「キララ」は、鈴よりトライアングルの方が合っているよ。</li> <li>・「ピョンピョンピョン」は、タンバリンより小太鼓の方が、大きな音が出て迫力があるよ。</li> <li>・「キララ キラキラ」は1回目と2回目の強さを変えるといいな。</li> <li>・タンバリンを打つのではなく、振って演奏するといいいね。</li> <li>○グループで演奏のしかたを考える。</li> <li>○互いの演奏を聴き合う。</li> <li>・前よりも歌詞に合った楽器を選んでいたね。</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>本時 (6/7)</b></p>	イー① (演奏の聴取・ワークシート)
	第七時	<p><b>実行</b>      <b>振り返り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○前時を生かして、グループで演奏練習をする。</li> <li>○これまでの学習を生かし、拍やリズム、演奏のしかたを意識しながら一年生に「中央っ子 海のたんけんたい」を発表する。</li> <li>○学習を通して、楽しかったことやできるようになったことや、今後の学習でやってみたいことを交流し合う。</li> <li>・友達と一緒に、すてきな海の音を見つけることができた。</li> <li>・一年生に喜んでもらえてうれしかった。</li> </ul>	ウー② (演奏の聴取)

9 本時の展開 (5/7時間)

(1) 本時の目標

自分達でつくった「中央っ子 海のたんけんたい」の演奏をよりよくするために、歌詞に合う楽器や音を探し、工夫して演奏する。

(2) 学習の展開

	学習内容と学習活動 (○) 予想される児童の姿 (・)	指導上の留意点 (○) つまずきへの支援 (・)	評価規準 (評価方法)
つかむ	<p>1 課題意識をもつ。 ○前時までの学習をふり返る。</p> <p>○「中央っ子 海のたんけんたい」を歌う。</p> <p>2 学習課題を確認する。 ○本時のめあてを確認し、見通しをもつ。 ・前の時間よりも、もっといい音を見つけない。</p>	<p>○前時を想起させるとともに、1年生担任からの手紙を読み、音楽づくりへの意欲を持たせる。</p> <p>○3つのグループの中の1つのグループが作った歌詞で、みんなで歌う。 ・向島の海の写真を見せ、イメージをふくらませるとともに、手拍子でリズム打ちをしながら歌わせる。</p>	
	<p>歌しに ぴったり合う音をさがして くふうして えんそうしよう。</p>		
考える	<p>3 前時でつくった音楽を発表する。 ○グループで発表し、改善点を伝え合う。 【楽器の工夫】 ・波の音の「キララ」は、鈴よりトライアングルの方が合っているよ。 ・「ピョンピョンピョン」は、タンバリンより小太鼓の方が、大きな音が出て迫力があるよ。 ・「ザブザブザブ」は、タンバリンよりもマラカスの方が合っているよ。 【演奏方法の工夫】 ・「キララ キラキラ」は1回目と2回目の強さを変えるといいな。波が光っているのでもっとやさしい音にした方がいいよ。 ・「ゆらら ゆらゆら」は、タンバリンを打つのではなく、振って演奏するといいいね。 ・トライアングルを打つ場所を変えたら音も変わるよ。</p>	<p>○グループごとに、どんな音楽をつくりたいのか伝えさせ、発表させるとともに、より歌詞に合う音楽にしていくための改善点を伝え合う。</p>	
繰り返す	<p>4 グループで演奏のしかたを考える。 ○アドバイスを生かし、使いたい楽器を試しながら、グループで演奏の方法を工夫する。 ・アドバイスをもらったように、楽器を変えてみよう。 ・「ザブザブザブ」は1回目は大波で強く、2回目は小波で弱く演奏してみよう。 ・「ゆらら」は、もっとやさしく演奏しよう。</p>	<p>○小グループで改善点や助言を生かして、歌詞に合う音を見つけさせる。 ・演奏のしかたの工夫が難しい児童には、目を閉じて楽器の音色を聴かせ、一つの楽器でも、いろいろな音の出し方があることに気づかせる。</p> <p>○グループの中で聴き合い、表現したいことが演奏に表れているか話し合い、演奏練習をする。</p>	音楽表現の創意工夫 イー① (演奏の聴取・ワークシート)
まとめ	<p>5 互いの演奏を聴き合う。 ○グループごとに発表をする。 ・前よりも歌詞に合った楽器を選んでいいね。 ・「ゆらら」がやさしく演奏されていてよかった。 ・1回目と2回目の音の強さを変えていいよかった。</p> <p>6 本時のまとめをし、ふり返りをする。</p>	<p>○本時のめあてを振り返り、全体でまとめをし、次時への見通しを持たせる。</p>	
	<p>児童のまとめ例</p> <p>友達にアドバイスをもらって、楽器や演奏のしかたを工夫したら、前よりももっと歌詞に合う音が出てうれしかった。1年生にもすてきな「海のたんけんたい」を聴いてもらいたい。</p>		
		<p>○次回は、1年生に発表することを伝え、意欲を持たせる。</p>	

